

日頃より弊社書籍をご利用くださりありがとうございます。

上記書籍において誤植がありましたので、本書は下記をご確認の上、訂正してお使いいただけますようお願い申し上げます。ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

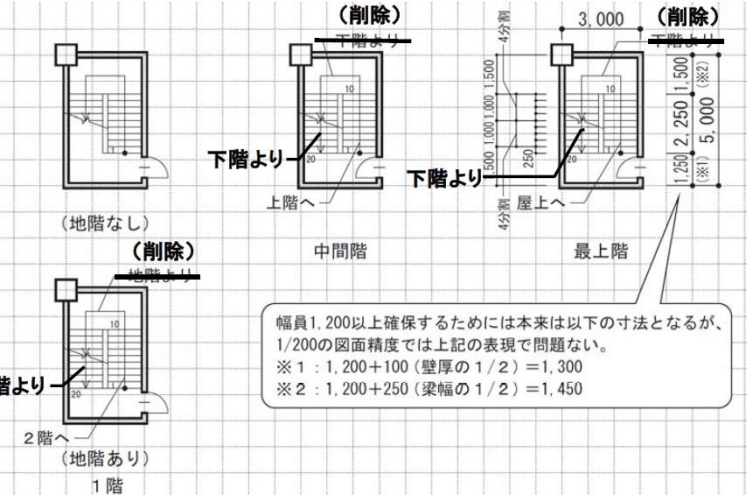
2024年 6月
TAC 建築士講座

頁	誤	正						
設計製図 テキスト P59	<p>ポイント内の④を削除して下さい。</p>	<p>ポイント ①階段は、原則、グリッド内に納まるように計画する。 ②階によって階高が異なる場合は、段数の違いに注意して計画する。 ③屋外階段の1階部分では、階高に1階の床高を加えて段数の計算を行う。 (削除) ④具体的な階段の描き方はP.161、179、計画例は巻末の「図面集」を参照する。</p>						
設計製図 テキスト P147	<p>階段の図について、下記のように訂正して下さい。</p>	<p style="text-align: right;">※段数の値は記入しなくてよい</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 85%;">表現 (S=1/200)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者用階段 (※)</td> <td> <p>7m×4m (階高4m) [幅員1,400mm以上、けあげ160mm以下、踏面300mm以上。] 4,000mm / 160mm = 25段以上必要。図は26段の例。</p> <p>1階 (地階なし) 中間階 最上階</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>6m×4m (階高4m) [幅員1,400mm以上、けあげ160mm以下、踏面300mm以上。] 4,000mm / 160mm = 25段以上必要。図は26段の例。</p> <p>1階 (地階なし) 中間階 最上階</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) 上記の利用者用階段は、バリアフリー法の円滑化誘導基準に対応した階段である。</p>	項目	表現 (S=1/200)	利用者用階段 (※)	<p>7m×4m (階高4m) [幅員1,400mm以上、けあげ160mm以下、踏面300mm以上。] 4,000mm / 160mm = 25段以上必要。図は26段の例。</p> <p>1階 (地階なし) 中間階 最上階</p>		<p>6m×4m (階高4m) [幅員1,400mm以上、けあげ160mm以下、踏面300mm以上。] 4,000mm / 160mm = 25段以上必要。図は26段の例。</p> <p>1階 (地階なし) 中間階 最上階</p>
項目	表現 (S=1/200)							
利用者用階段 (※)	<p>7m×4m (階高4m) [幅員1,400mm以上、けあげ160mm以下、踏面300mm以上。] 4,000mm / 160mm = 25段以上必要。図は26段の例。</p> <p>1階 (地階なし) 中間階 最上階</p>							
	<p>6m×4m (階高4m) [幅員1,400mm以上、けあげ160mm以下、踏面300mm以上。] 4,000mm / 160mm = 25段以上必要。図は26段の例。</p> <p>1階 (地階なし) 中間階 最上階</p>							

裏面に続きますので、ご確認をお願いいたします。

階段の図について、下記のように訂正して下さい。

※段数の値は記入しなくてよい

項目	表現 (S=1/200)
5m×3m (階高4m)	幅員1,200mm以上、けあげ200mm以下、踏面240mm以上。 4,000mm / 200mm = 20段以上必要。
管理用階段 (※)	 <p>幅員1,200以上確保するためには本来は以下の寸法となるが、1/200の図面精度では上記の表現で問題ない。 ※1 : 1,200+100 (壁厚の 1/2) = 1,300 ※2 : 1,200+250 (梁幅の 1/2) = 1,450</p>
(※) 上記の管理用階段は基準法に対応した階段である。	

設計製図
テキスト
P148

表面もごさいますので、ご確認をお願いいたします。

TAC 株式会社
法人事業部 営業推進部
学校教材 G